



私と公民館の思い出

中条東第4町会
中野 正恵

私の父が町会長の頃、町内の居住者が多く、公民館を増築することになりました。広く明るくなり、集まる機会がとも増え、自慢の料理を持ち寄ったり、地域の繋がりや見守りの温かさがありませんでした。

庭には藤棚を作り、今でも毎年きれいな花を咲かせ楽しませてくれています。私が子供の頃には町内に大勢の子供たちがいて、公民館や遊具が整備されたことによりみんなで朝から夕方まで遊んでいました。

私も鉄棒を朝早くから時間を忘れる程練習をして、小学校の体育の授業で発表ができて嬉しかったです。

鬼ごっこやだるまさんが転んだ・缶蹴り・かくれんぼ・竹馬・縄跳びなど毎日のように遊びを楽しめ成長することが出来ました。

令和3年9月1日現在
総世帯数 1,388世帯
総人口 2,494人
男 1,190人
女 1,304人

子供会では青山様やぼんぼん、花火を行ったりアイスキャンデーやスイカ・トウモロコシをお腹いっぱい頬張りました。老人会の皆さんにより、花いっぱい運動で町内にお花が咲き、お花を眺めながらの散歩も楽しめました。

秋葉神社のお祭りも年に2回、食事やカラオケ・ビンゴなどを催し御神酒もたくさん上がり盛大に行うことが出来ました。

皆さんの行事の場・憩いの場・ふれあいの場として、また写真もたくさん撮ったり楽しい時間と思い出があります。

温もりのある日常がコロナ禍で全てが出来なくなり、ご近所の方ともゆっくりお話も出来ず残念です。改めて、今までで当たり前に



元気に百歳

小池町町会
鴻田 康子

九十歳を過ぎた母に懇請され実家に戻りました。今年母は、元気に百歳を迎えました。1921年2月1日生まれの百寿に、沢山の温かい「おめでとう」をいただきました。

出来たことがどんなに大切に幸せなことだったと実感し、皆さんのご協力があり過ごせたことに感謝の気持ちでいっぱいです。

一日も早くコロナが終息し、公民館の利用や行事が増え、活気と笑顔があふれると嬉しいですね。地域の繋がりや見守りにも期待をしたいと思います。

一昨年デイスーパーで事故にあい、立ち歩いきが不自由になりまして、車椅子に座りながら、お客さまとお話したり、お食事が出来るようになり安堵しています。最近「お幸せですか」と聞かれて「とても幸せです。娘がいるから何の心配もありません」と答えていました。

介護爺さんの夫、介護婆さんの私と二人の高齢家族です。在宅介護の当事者となり、思い出すのは平成6年、市長さんの提案で開催されたフォーラムです。テーマは「松本の二十一世紀の高齢社会を考える、安心して生きがいをもって暮らせるまちづくり」地域ケアサービスシステムの提案もありました。老々介護のわが家は、在宅で介護を続ける為の様々なシステムと携わって下さる皆さんに支えられて生活していると、ハッキリ感じています。

生きがいの一つに社会参加



数年前には隣組に4人の九十五歳以上がいました。「おばあちゃんお元気ですか」「おかげさまで」そんなやりとりが合言葉のようになっていました。百歳の敬老の日には町内会、市長さん、県知事さん、総理大臣から賞状や銀杯などが届けられました。お世話になっている沢山の皆さんのおかげで、母に届けられた銀杯は、お仏壇でご先祖さまと一緒に見守ってくれています。母にはこれからも永く穏やかに暮らして欲しいと思っています。そして沢山の皆さんに「ありがとう」。

生きがいの一つに社会参加

第二地区指定避難所の開設

8月12日からの大雨の発生により、市内全域で指定避難所の開設が行われました。第二地区でも、まつもと市民芸術館に避難所が開設されました。市内の各所で被害がありました。特に被害はありませんでした。

第一地区で災害が起きた場合は、まつもと市民芸術館が指定避難所になっています。

なお、第二地区公民館については、地震発生時に使用することができません。その際は、要援護者優先避難所として開設されます。

改めて、住民の皆様は災害が起きたとき、どこに避難をするのかを確認しておいてください。また、防災グッズなどの準備をして、今後の災害に備えましょう。



まつもと市民芸術館

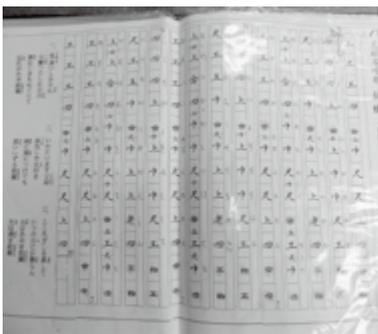
ふれあい健康教室

8月27日、新型コロナウイルス感染症が増える中、当番の南源地・北源地町会役員による受付での利用者の検温、名簿記入、手のひら消毒、マスク着用と会話を極力控えるよう感染対策の徹底をお願いし、ペットボトルのお茶を配布した後、希望者には血圧測定・健康相談を順次行いました。

9時30分より町会長の挨拶と、体力づくりサポーターの皆さんによるストレッチ体操を行い、水分補給後、当番町会企画の南源地民生委員の千田さんが所属する「ていだ」の3名による沖縄の三線の演奏を聴きました。



「ていだ」による演奏



譜面



三線

演奏を終了後に男女2人の沖縄特有の色鮮やかな衣装と三線と独特の演奏譜面を見せていただきました。2度目の水分補給後、保健師さんと中央地域包括支援センターの職員のワンポイント健康アドバイスをお聞きし、最後に5名の8月生まれの方に誕生日プレゼントを渡し、それぞれからお礼の言葉をいただき、スタッフを含め約40名の8月のふれあい健康教室が終了しました。

公民館体育委員会主催 マレットゴルフ大会

8月30日(月)第二地区公民館体育委員会が今年初めて主催するマレットゴルフ大会が開催されました。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、体育委員会主催事業が次々と中止となっている状況でしたが、1年が経過し、感染対策に関する認識や対応も変化しており、徹底した対策を取り、更に屋外事業とのことで無事開催することができました。

大会は、安曇野市堀金にある四季の郷。参加者16名で行なわれました。コースは山の中にあり勾配が激しいうえ、あらゆる所にOB杭が設置されており、マレットゴルフ熟練者でも苦戦をしいられるコースでした。

大会が終わり、参加者からは、「コロナ禍で普段体を動かしていなかったが、今回の大会に出て、心身共にリフレッシュすることができた」等を聞く事ができました。

今後も新型コロナウイルス感染症対策に十分注意をはらうなか、体育委員会事業を開催してまいります。



すすき川

この記事を書いているのが8月29日。数日前から猛暑が復活。お盆の頃は割と涼しく、このまま日中は別として朝晩は涼しくなるのかなーと思いきや、思い通りにはならないものである。

ただ一方で、稲穂はこっぴを重く垂れ、とんぼが舞い、耳を澄ませば虫の音が。秋の訪れもそう遠くはないかなー。

ところで、オリンピックはすでに終了し、パラリンピックが熱戦展開中。障害を乗り越えての選手の大活躍に心より賛辞と拍手を送りたい。高校野球。惜しくも三回戦突破とならなかった松商学園だったが、来年も甲子園を目指して欲しいと思う。

感染拡大が止まらないコロナ。県内でも当市が感染者数が一番多い。第二地区内においても予定されていた行事が中止又は規模縮小となるケースが。敵(コロナ)も「人類になんか負けてなるものか」と変異強化しているから困ったものだ。一刻も早く終息に向かい、来年こそは従来の日常性を取り戻せることを願う。

(青柳)